

# 令和5年度学校評価 結果

川口高等学校

1 実施時期 令和6年 1月19日(金)～ 1月31日(金)

2 対象・回収率 (調査方法 質問紙法)

分類	外部評価		自己評価	生徒
対象	保護者	学校運営協議会	教員	1～3年
回答率	56%	80%	100%	91%

## 3 調査結果

### (1) アンケート項目の設定と分析の観点

保護者、学校運営協議会委員、教員のアンケートは、学校経営・運営ビジョンの3つの重点目標の6項目から評価項目を立て、同じアンケートに回答する形にした。これにより、三者の評価の違いを回答結果から確認、分析できるようにした。分析の観点は、以下のとおりである。

- (1) 三者の評価が同じ状況である場合は、学校運営がビジョンに沿って順調に行われている、又は、その逆に大きな問題があると判断する。
- (2) 三者の評価にずれ(別の傾向の評価)がある場合は、改善を有する問題があると判断する。
- (3) 「そう思う」、「まあそう思う」の回答は、学校運営に対する肯定的な評価と判断する。その中で、「まあそう思う」の評価が「そう思う」上回る場合は、やや評価が低いと判断する。
- (4) 「あまり思わない」、「そう思わない」の回答は、学校運営に対する否定的な評価(問題があるとする評価)と判断する。その中で「そう思わない」とする評価がある場合は、問題が顕著に認識されている内容があり、喫緊に改善を要する事項であると判断する。

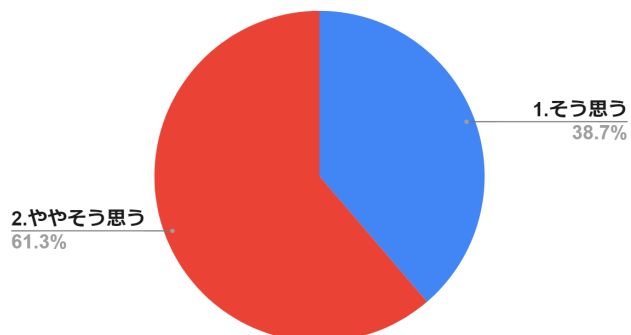
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

#### 4 保護者・学校運営協議会員・教職員による学校運営・経営ビジョンに対する評価アンケート結果比較

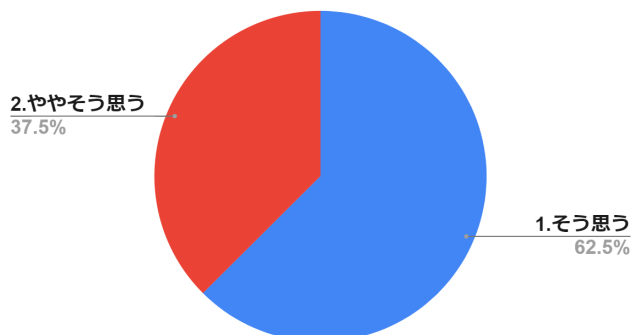
##### ①教育活動全般

本校の教育活動全般に満足している。

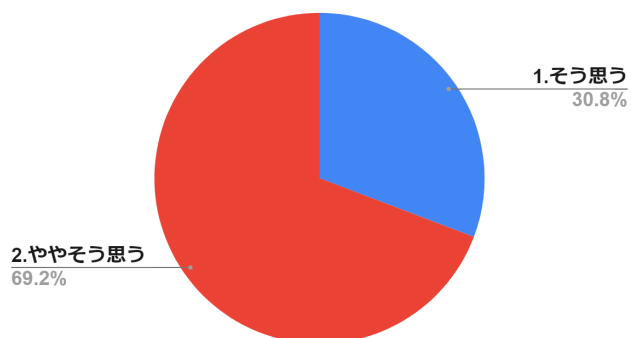
保護者



学校運営協議会委員



教職員

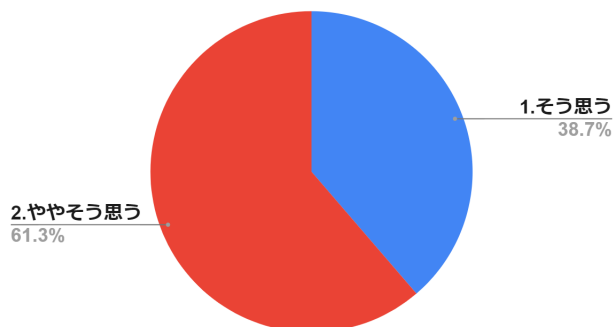


否定的な回答がなく、概ね本校の教育活動に満足していることがわかる。ただし、保護者・教職員は「ややそう思う」の比率が多く、今以上の教育活動を求めている保護者や行いたい教職員が多くいることが分かる。

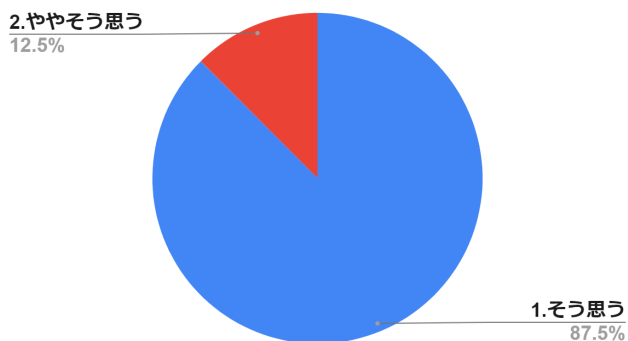
## ②学力向上

### 1. 学校は、生徒一人ひとりに応じた分かる授業を行っている。

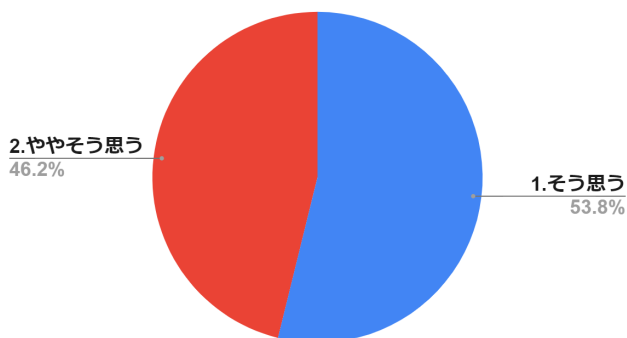
保護者



学校運営協議会委員

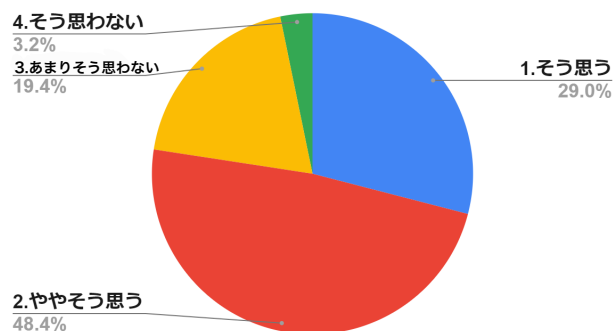


教職員

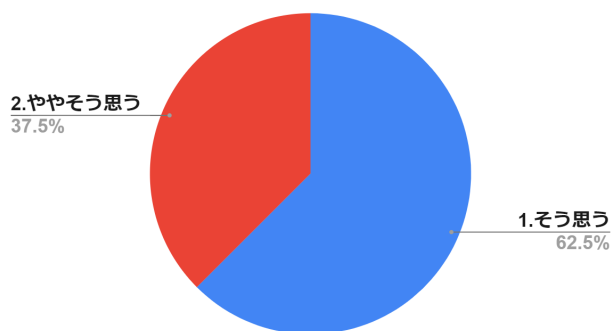


### 2. 学校は、生徒が資格を積極的に取得するようにしている。

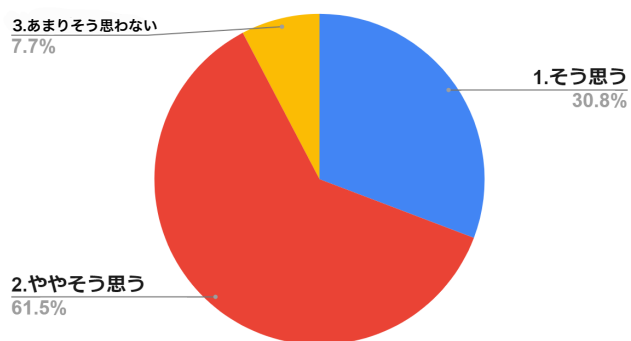
保護者



学校運営協議会委員

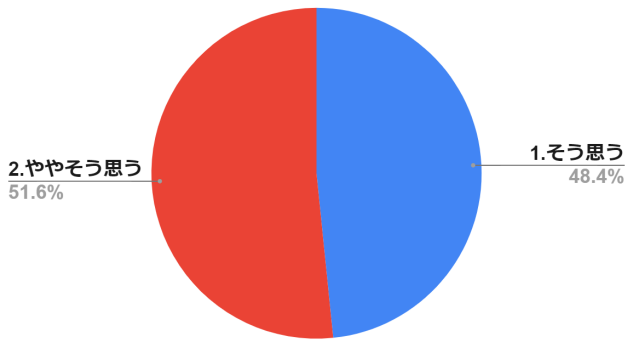


教職員

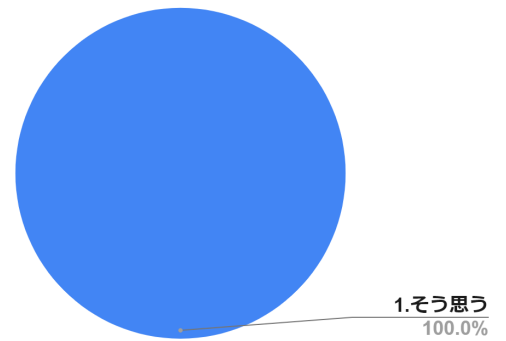


### 3. 学校は、生徒の進路希望に応じた課外や個別指導を実施している。

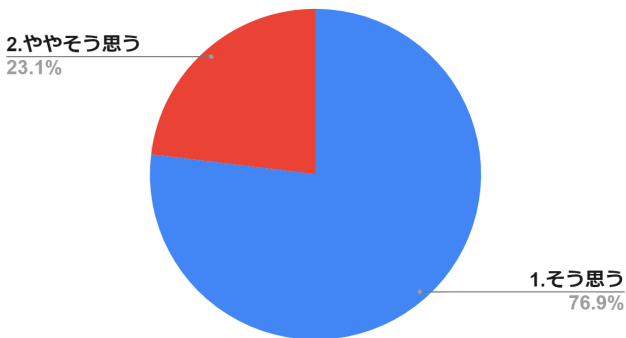
保護者



学校運営協議会委員



教職員

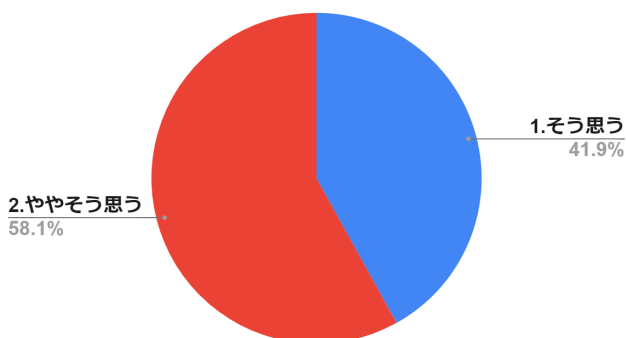


授業や課外に対しては否定的な回答はないが、検定に関しては保護者の回答の内、「そう思わない」「あまりそう思わない」という回答が2割強を占め、教職員にも「あまりそう思わない」の回答がある。学校から検定を推すだけでなく、生徒が資格を積極的に取得しようと思えるような方策を考える必要がある。また、保護者の記述式回答で「ある教科の授業で生徒が思うところがあるようだ」と回答があった。

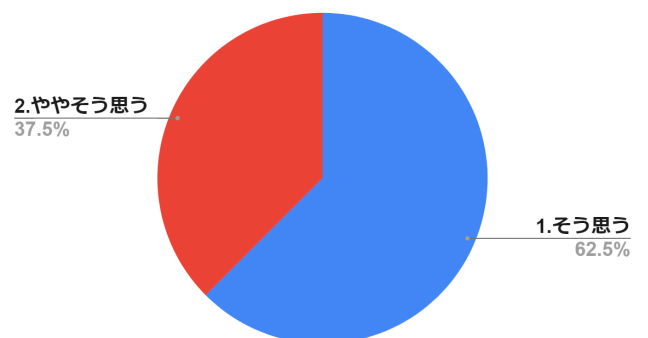
### ③進路実現

#### 1. 学校は、生徒の3年間を見据えて、進路希望調査や進路相談などを行っている。

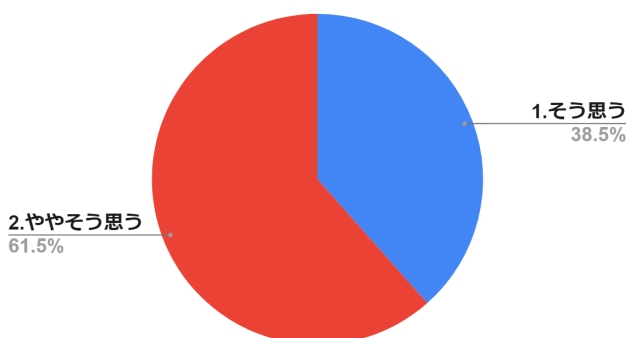
保護者



学校運営協議会委員



教職員



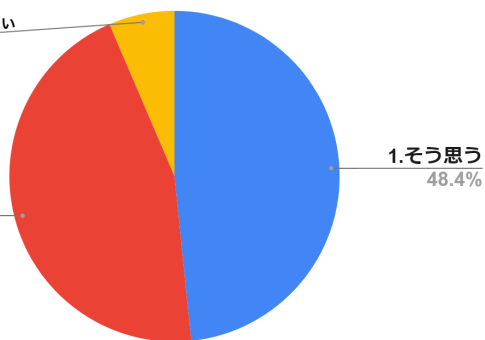
2. 学校は、進路に関する講座や企業説明会などの進路関係行事を行い、進路意識の向上に努めている。

保護者

3.あまりそう思わない  
6.5%

2.ややそう思う  
45.2%

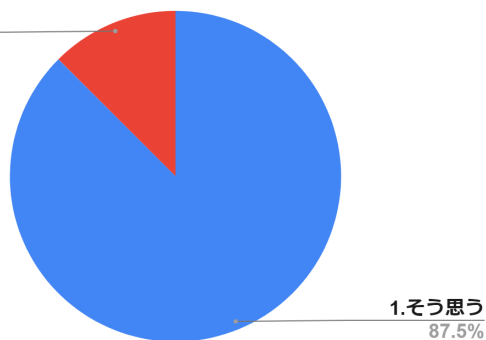
1.そう思う  
48.4%



学校運営協議会委員

2.ややそう思う  
12.5%

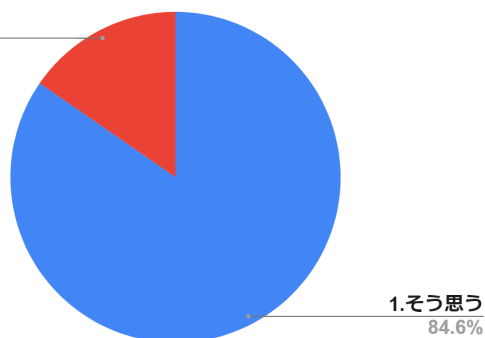
1.そう思う  
87.5%



教職員

2.ややそう思う  
15.4%

1.そう思う  
84.6%



保護者から「あまりそう思わない」という回答が少しだけ見られる。全体的な満足度が高いことから、進路活動を増やすというよりも、保護者にどのような進路活動をしているか知ってもらうための方策が必要。

#### ④基本的生活

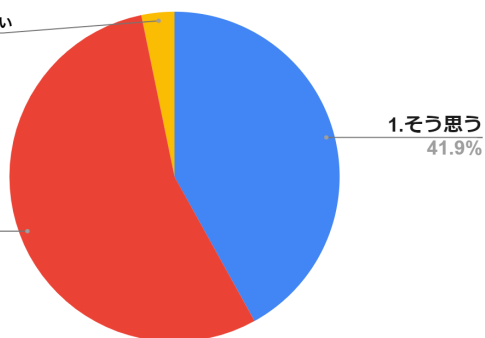
学校は、生徒が礼儀やマナー、社会人として必要な規範意識を身につけられるよう指導を行っている。

保護者

3.あまりそう思わない  
3.2%

2.ややそう思う  
54.8%

1.そう思う  
41.9%

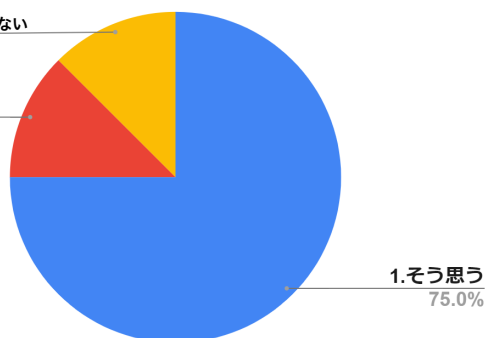


学校運営協議会委員

3.あまりそう思わない  
12.5%

2.ややそう思う  
12.5%

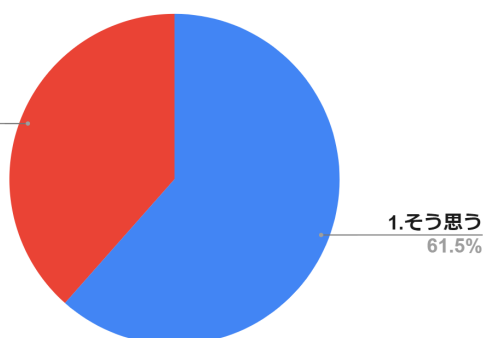
1.そう思う  
75.0%



教職員

2.ややそう思う  
38.5%

1.そう思う  
61.5%



両者ともに「あまりそう思わない」という回答があった。生徒アンケートも合わせて参照すると、生徒の礼儀やマナーが身につけていない様子が見られる。より一層の指導が必要。

## ⑤健全な心と身体

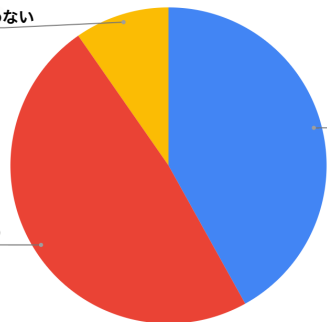
1. 学校は生徒が自他の命と心を大切にする教育に努めている。

保護者

3.あまりそう思わない  
9.7%

1.そう思う  
41.9%

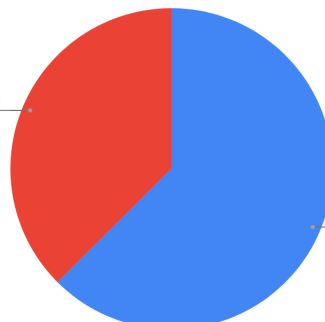
2.ややそう思う  
48.4%



学校運営協議会委員

2.ややそう思う  
37.5%

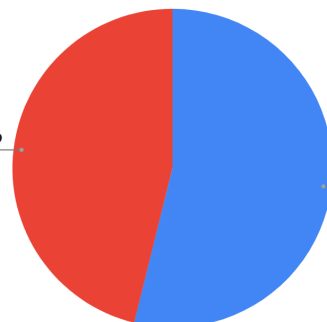
1.そう思う  
62.5%



教職員

2.ややそう思う  
46.2%

1.そう思う  
53.8%



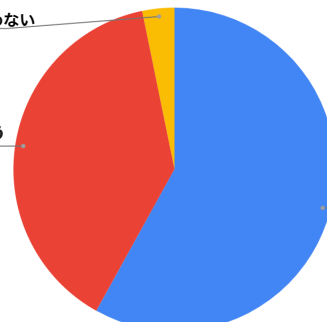
2. 学校は、生徒が部活動、生徒会活動、学校行事に積極的に参加するよう指導している。

保護者

3.あまりそう思わない  
3.2%

1.そう思う  
58.1%

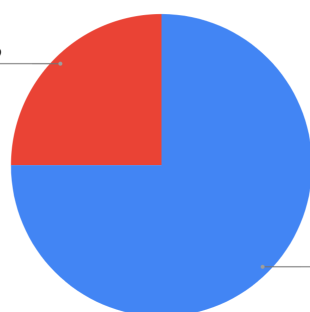
2.ややそう思う  
38.7%



学校運営協議会委員

2.ややそう思う  
25.0%

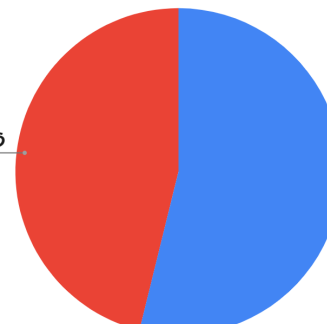
1.そう思う  
75.0%



教職員

2.ややそう思う  
46.2%

1.そう思う  
53.8%



保護者のみ「あまりそう思わない」の回答が見られる。全体的な満足度が高いことから、指導の見直しというよりも、保護者にどのような生活指導をしているか知ってもらうための方策が必要。

## ⑥安全

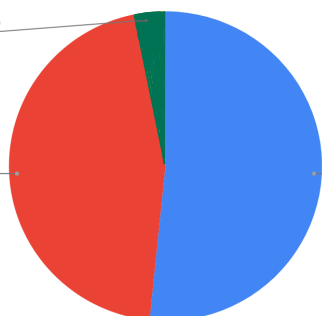
1. 学校は、生徒が安全に学校生活を送れるよう、施設・設備の維持・管理に務めている。

保護者

4. そう思わない  
3.2%

2. ややそう思う  
45.2%

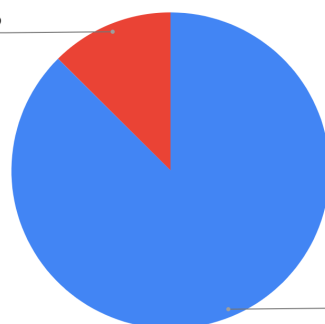
1. そう思う  
51.6%



学校運営協議会委員

2. ややそう思う  
12.5%

1. そう思う  
87.5%

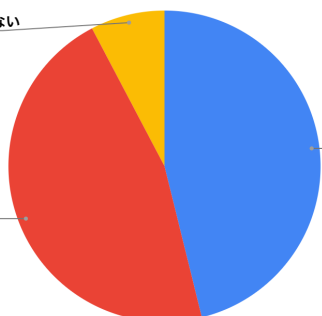


教職員

3. あまりそう思わない  
7.7%

2. ややそう思う  
46.2%

1. そう思う  
46.2%



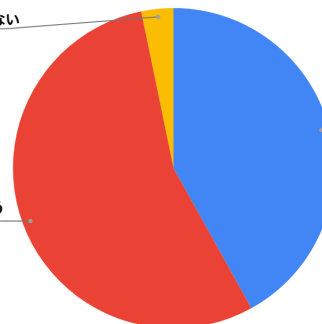
2. 学校は、生徒が清潔な環境で生活し学ぶことができるよう、学校内外の清掃などの美化活動に努めている。

保護者

3. あまりそう思わない  
3.2%

2. ややそう思う  
54.8%

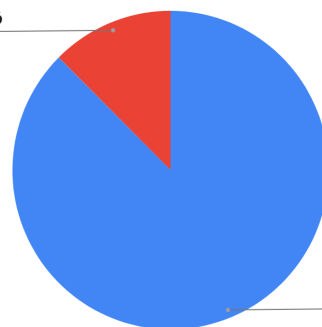
1. そう思う  
41.9%



学校運営協議会委員

2. ややそう思う  
12.5%

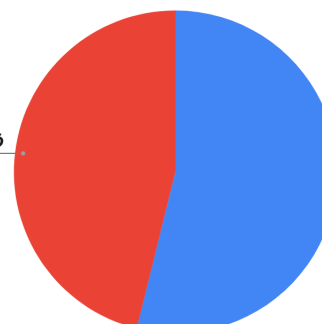
1. そう思う  
87.5%



教職員

2. ややそう思う  
46.2%

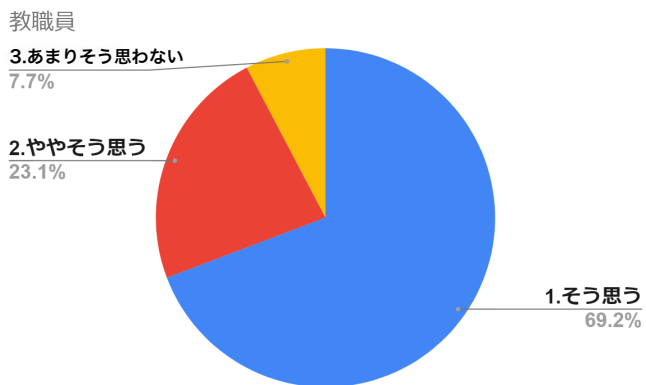
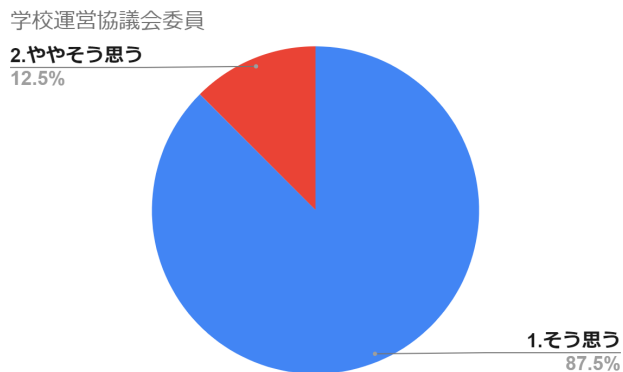
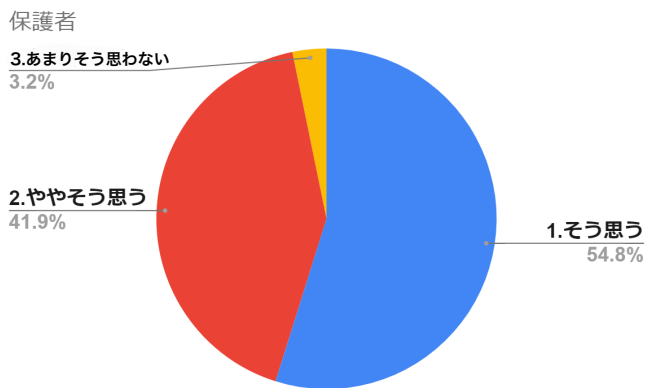
1. そう思う  
53.8%



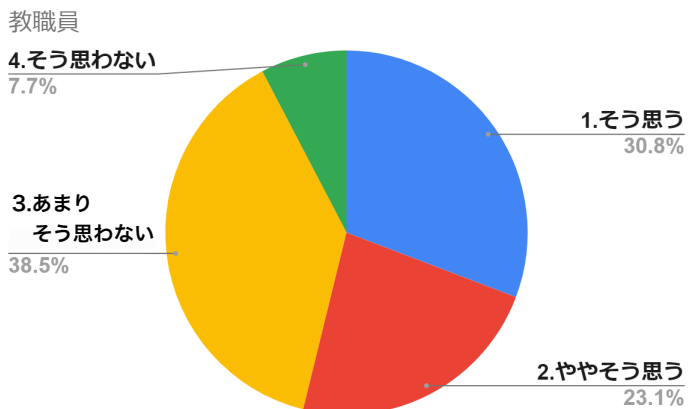
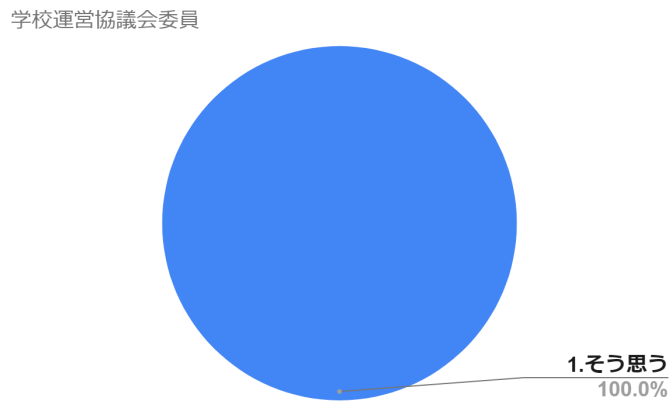
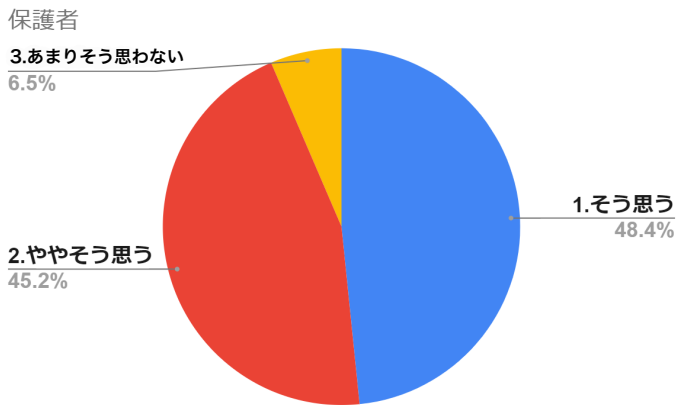
大半が肯定的な回答である。ただし、否定的な回答も見られるため、校内の老朽化している箇所があれば修繕していく必要がある。

⑦地域に根差す

1. 学校は、地域の発展に貢献する人材を育てるため、総合的な探究の時間の授業を工夫して行っている。



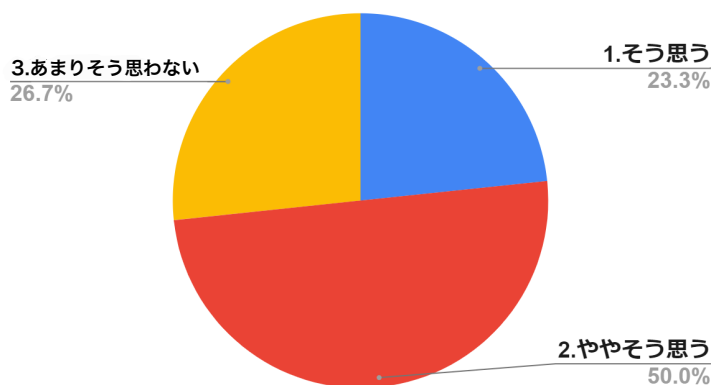
2. 学校は地域のボランティア活動に積極的に参加するようにしている。



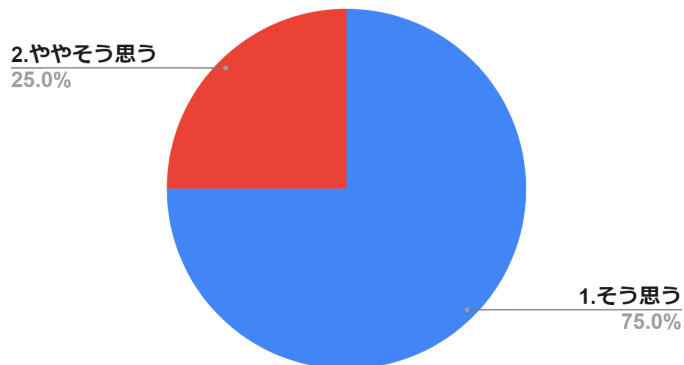


3. 学校は、広報の定期的な発行や学校HPの更新を行い、情報発信に努めている。

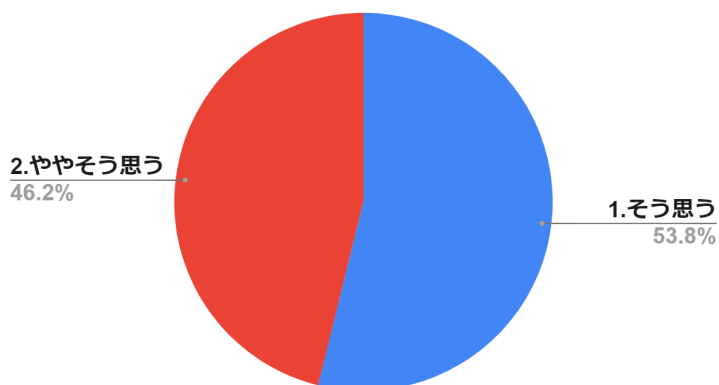
保護者



学校運営協議会委員



教職員

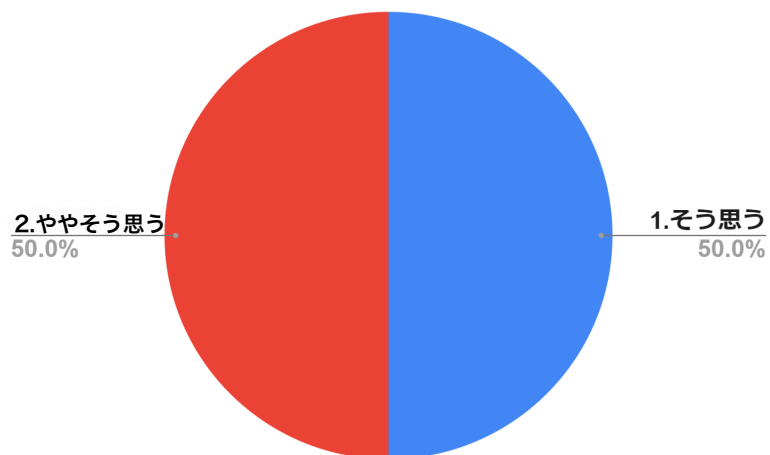


1.2.に関しては、大半が肯定的な回答であった。3.では「あまりそう思わない」が3割弱を占めており、記述式回答では、リモートでの面談をしたいといった広報以外の情報を求める声や、学校HPの写真をもっと多くしてほしいという声があった。

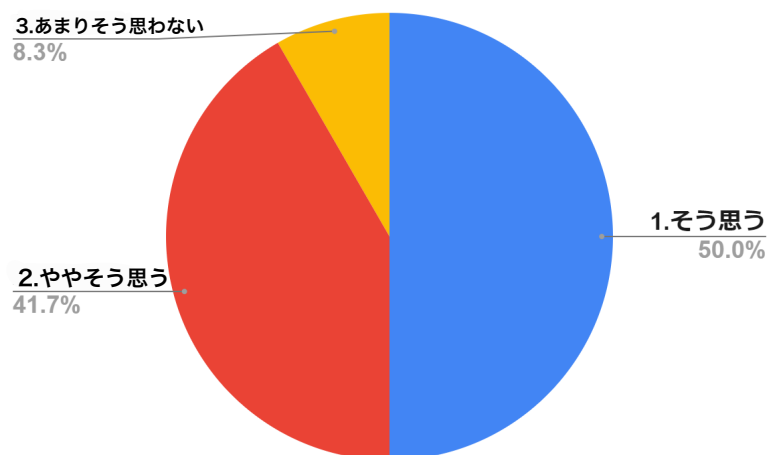
## 5 教職員による学校経営・運営ビジョン・授業指導の自己評価アンケート結果(授業)

### ⑧授業(授業を担当している教員のみ回答)

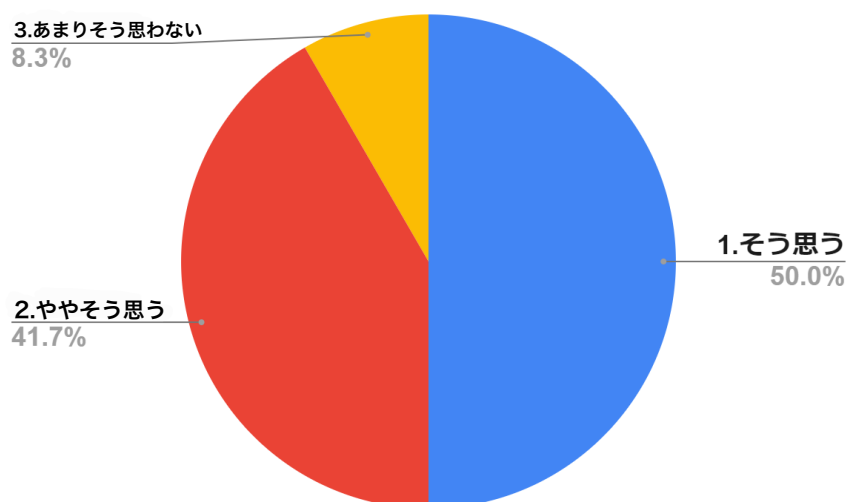
1. 教材研究を十分に行って授業をしている。



2. 生徒が集中して授業に取り組めるように工夫をしている。



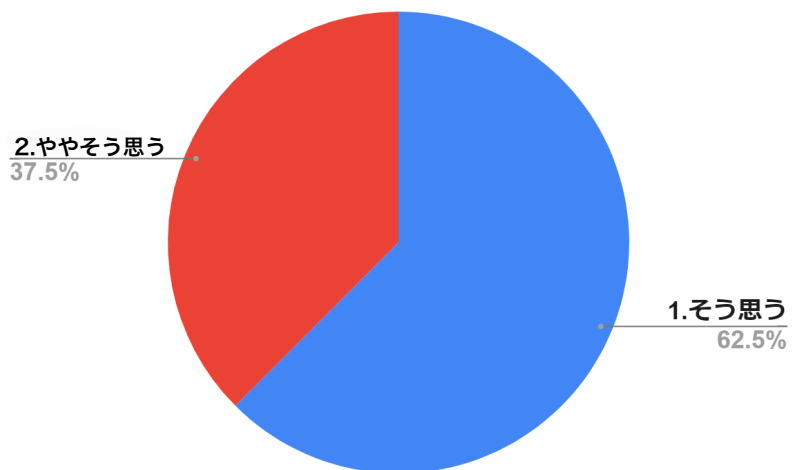
3. 生徒一人ひとりの学習到達度に配慮し、分かりやすい授業をしている。



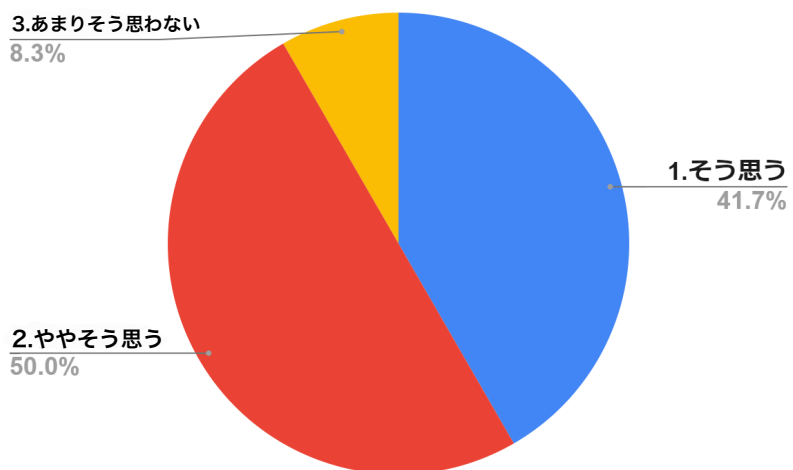
4. 生徒の学力に応じた適切な課題を与えている。



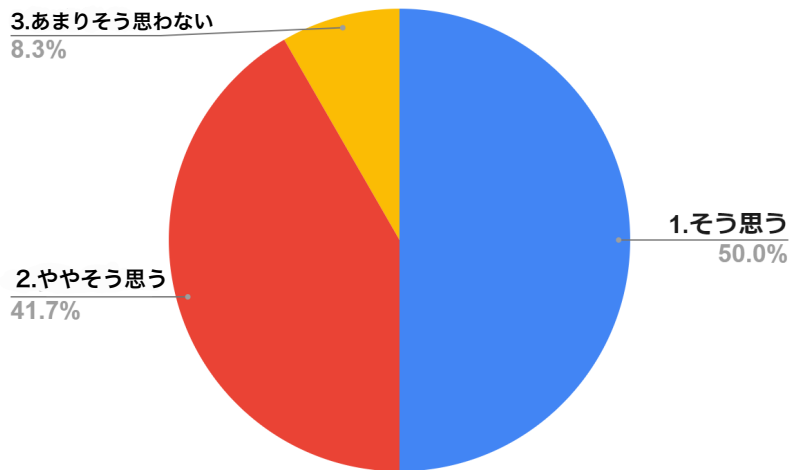
5. 習熟度授業による効果が最大限に発揮できるような指導をしている。(該当教科のみ)



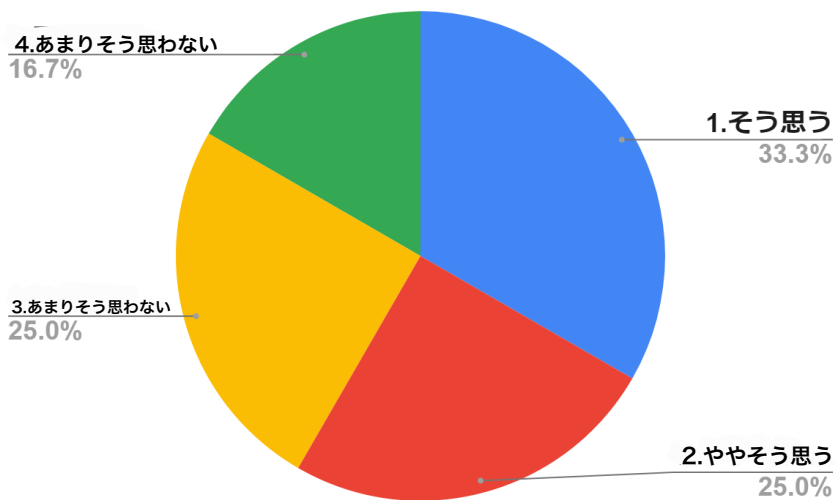
6. 進路希望別に対応できるように授業を工夫している。



7. 提出された課題(宿題)に対して、コメントを添えるなど事後指導を丁寧に行っている。



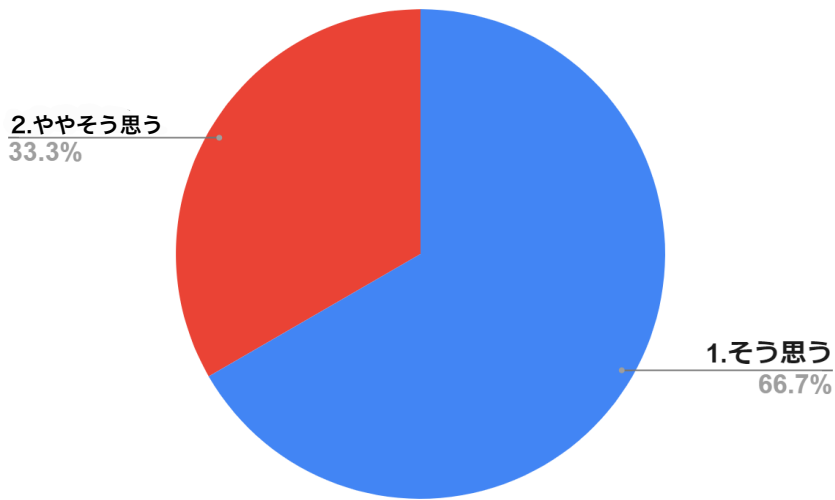
8. 年間学習指導計画どおりに授業を実施している。



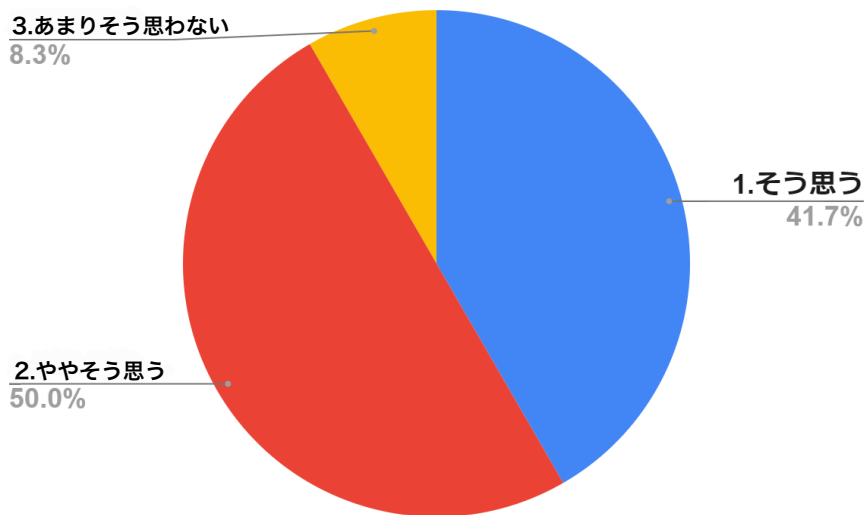
9. 各種研修会や研究授業を活用して授業力の向上に努めている。



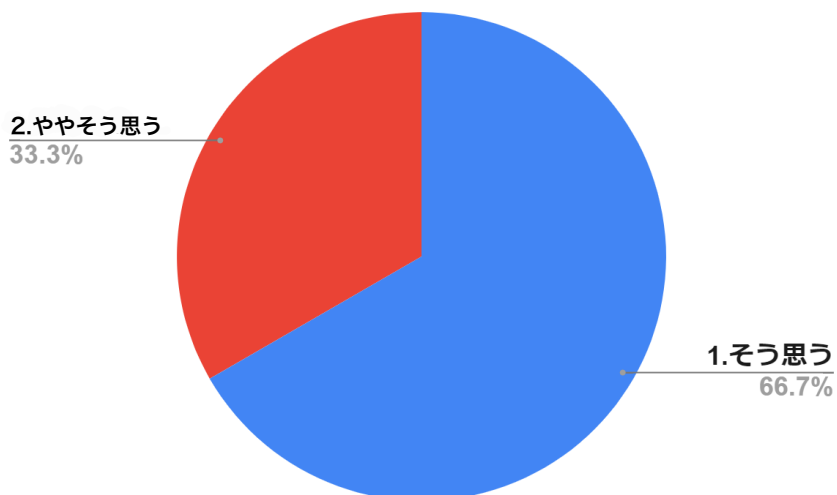
10. 生徒が聞き取りやすいよう、声の大きさや話し方に留意している。



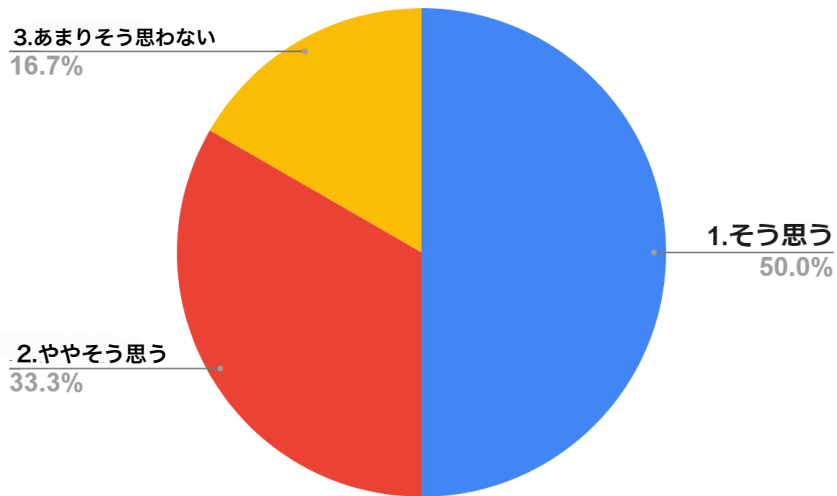
11. 授業の板書を的確に行っている。



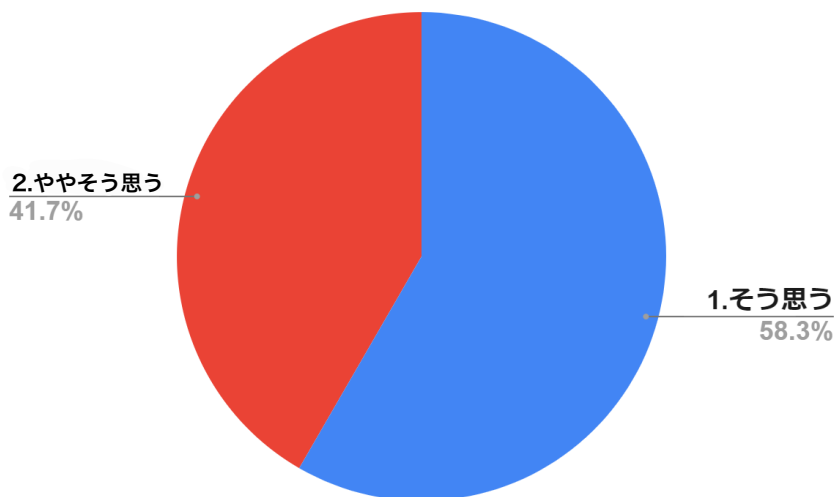
12. 生徒からの質問に対して丁寧に答えている。



13. ICT機器を有効に活用して授業を行っている。



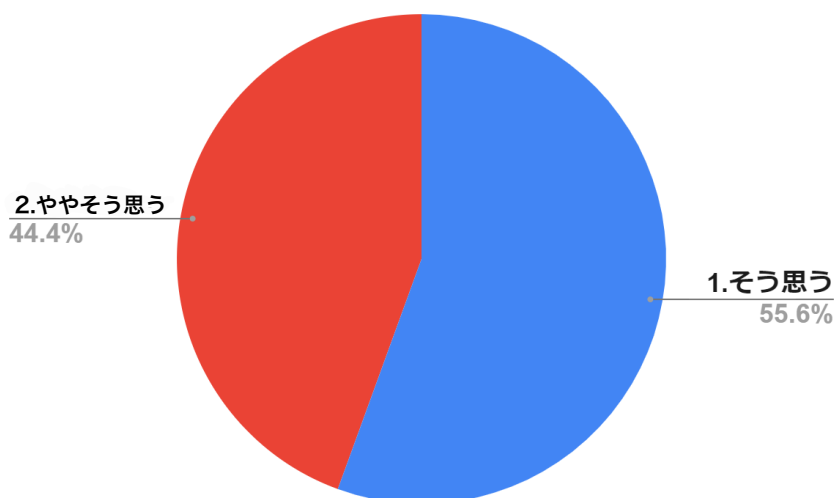
14. 時間通り(チャイム通り)に授業を行っている。



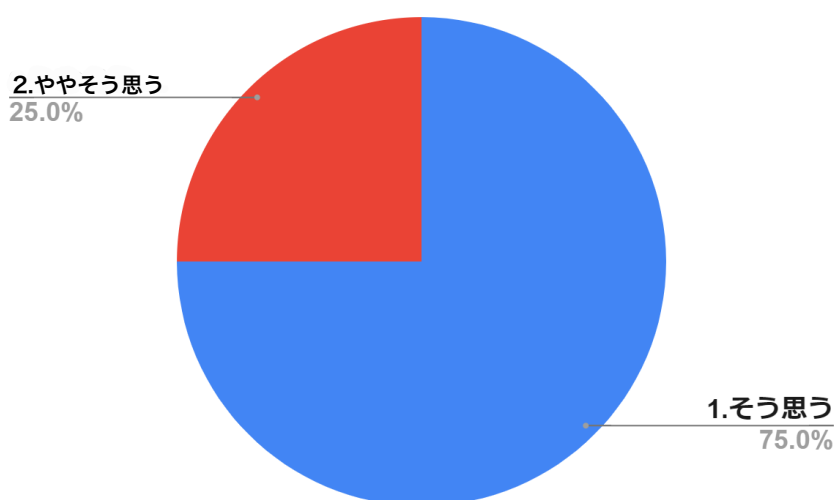
15. 授業中の私語や居眠りなど、授業態度について適切に指導している。



16. 生徒の学習の動機づけとして、資格取得を奨励している。(該当教科のみ)



17. 授業交換や代講等により授業時数の確保に努めている。

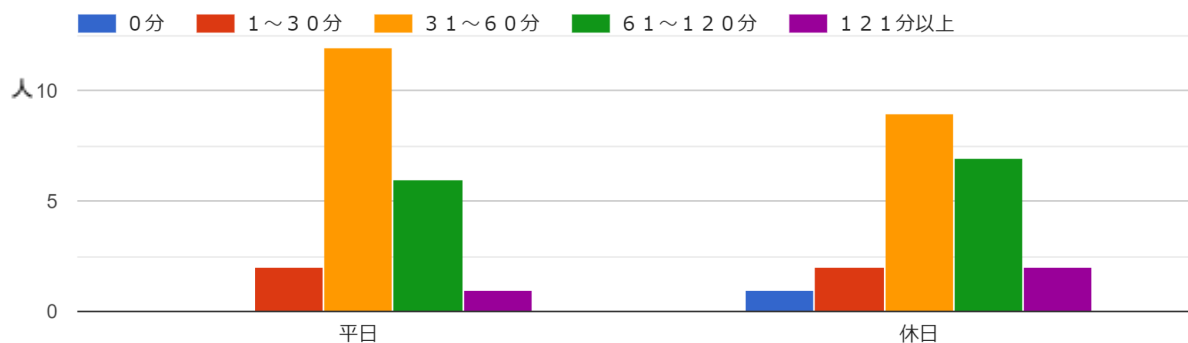


大半が肯定的な評価である。年間指導計画通りの授業については「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が多いこと、4.5.の回答が肯定的であることを踏まえると、生徒の実態を考えながら個別最適化された授業を進めていく内に、当初と異なる進め方になったものと思われる。

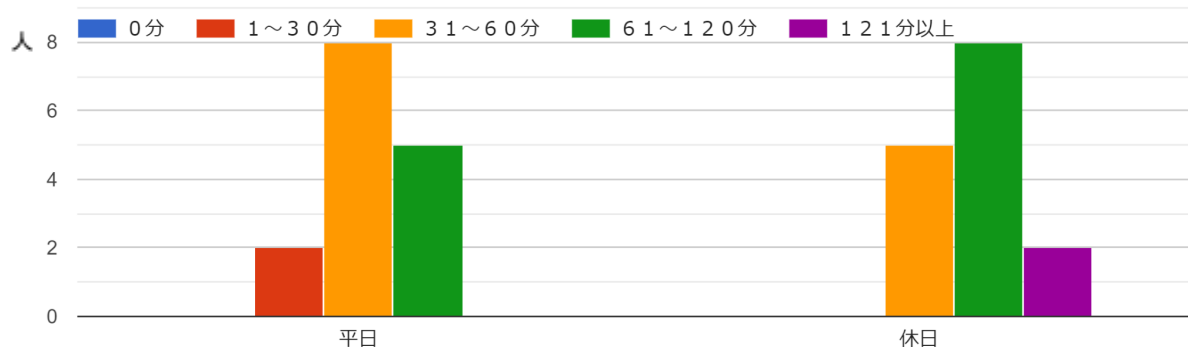
## 6 生徒アンケート

### ①家庭学習時間について

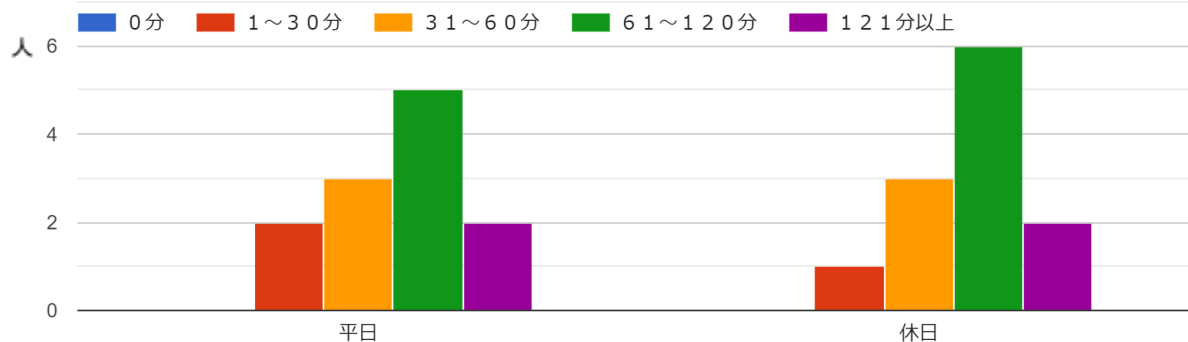
#### 1学年



#### 2学年



#### 3学年



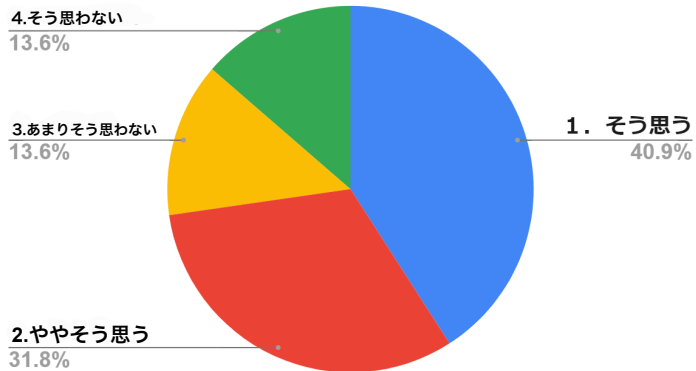
1学年と2学年を比較すると、平日はほとんど違いがないが、休日の勉強時間は2学年の方が長い。また、2学年と3学年を比較すると、休日にはほとんど違いがないが、平日の勉強時間が全体的に3学年の方が長くなっている。これらのことから、2学年は休日に勉強する意識が芽生え、3学年は進路を考える時期であるためか、毎日勉強をするという意識が芽生えていることが分析できる。



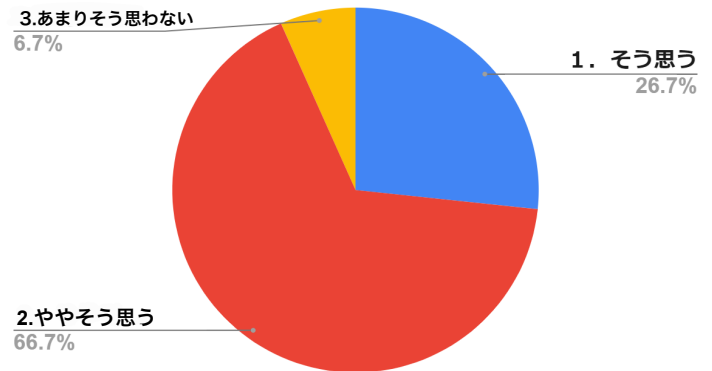
## ②学校生活について

### 1. 私は規則正しい生活を送ることができている。

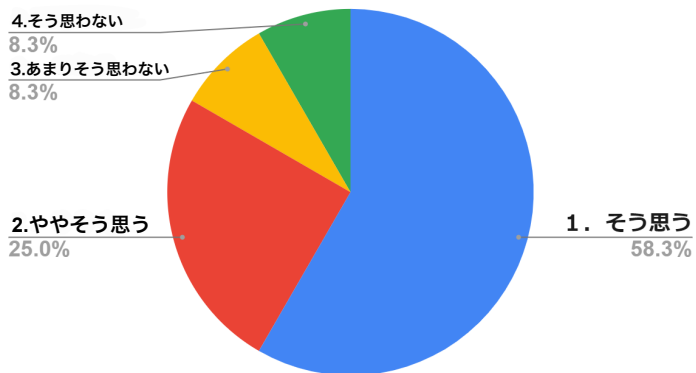
1 年生



2 学年

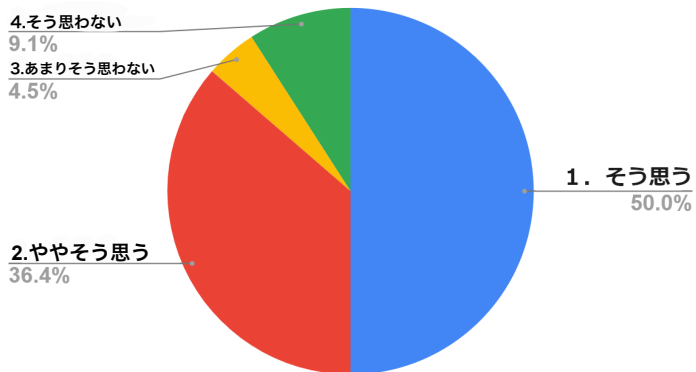


3 学年

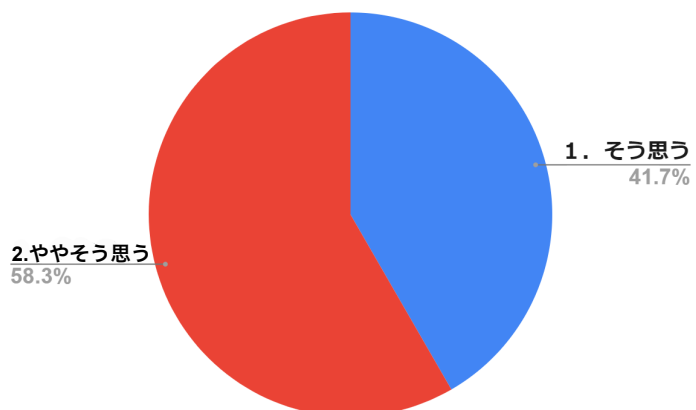
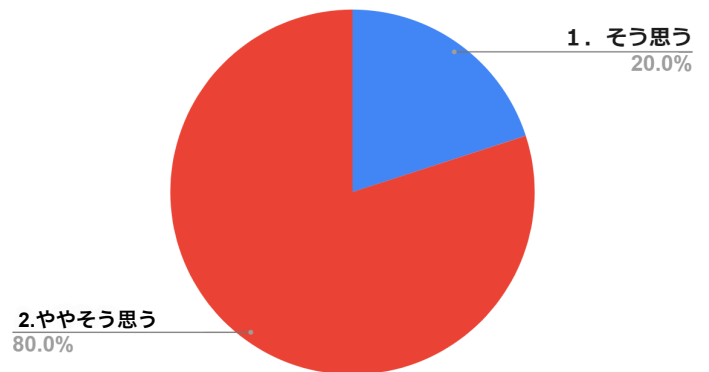


### 2. 私は、礼儀やマナー、校則を守って生活している。

1 学年

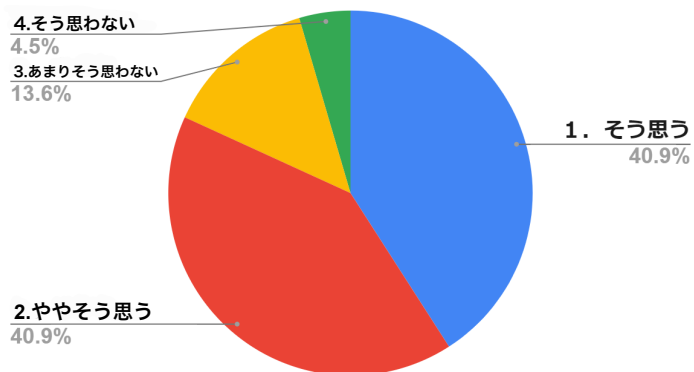


2 学年

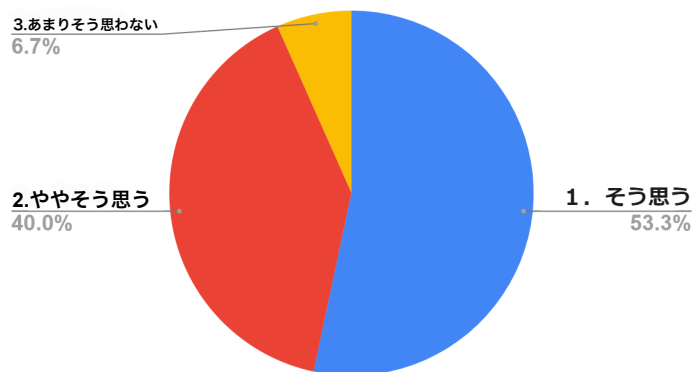


### 3. 私は、学校行事に積極的に参加している。

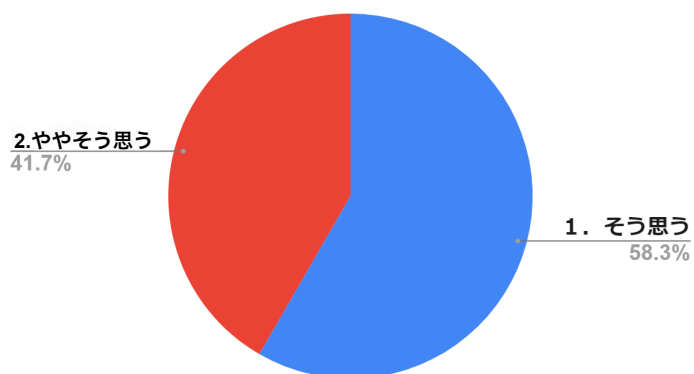
1 学年



2 学年

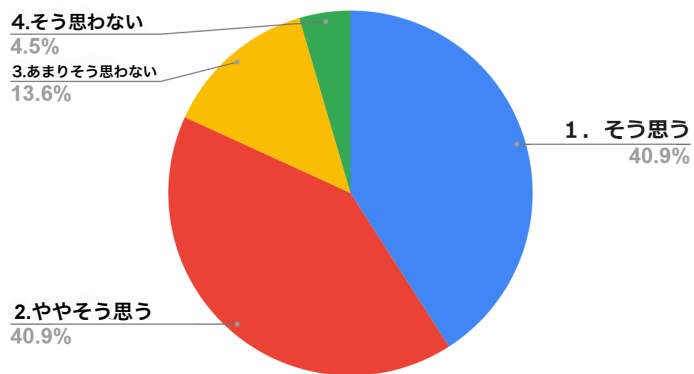


3 学年

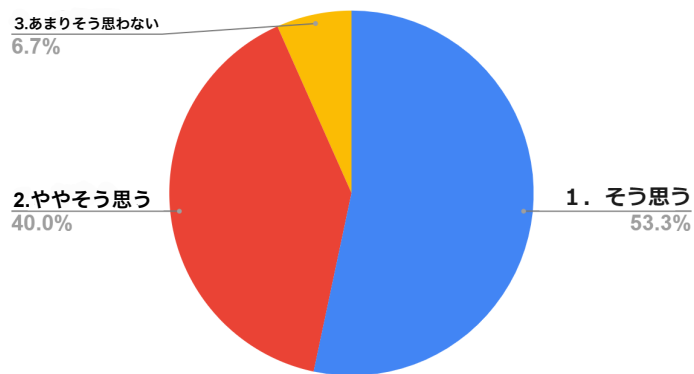


### 4. 私は、部活動、専門委員会活動などに積極的に取り組んでいる。

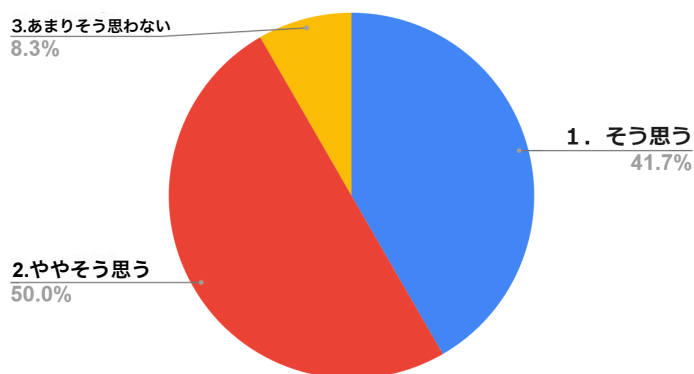
1 学年



2 学年

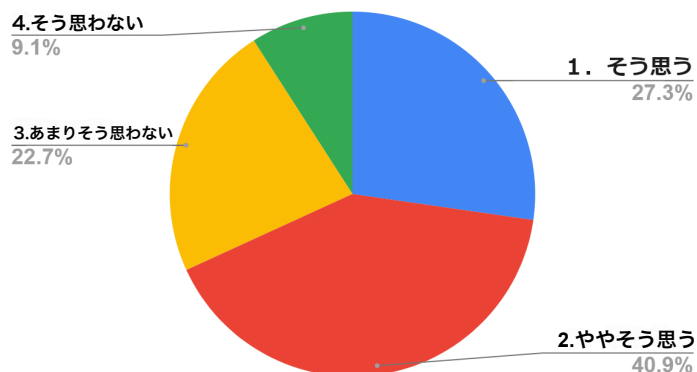


3 学年

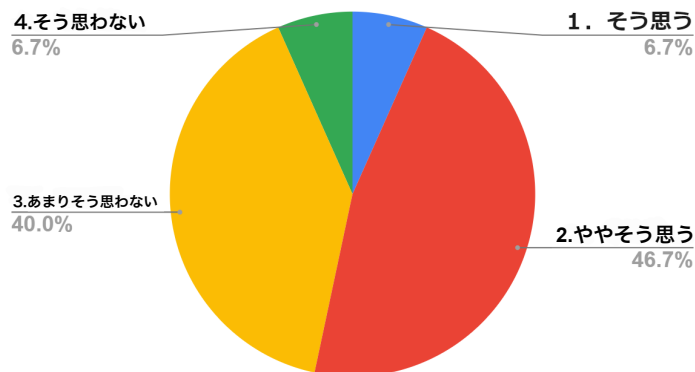


5. 私は、ボランティア活動などで地域の活動に積極的に取り組んでいる。

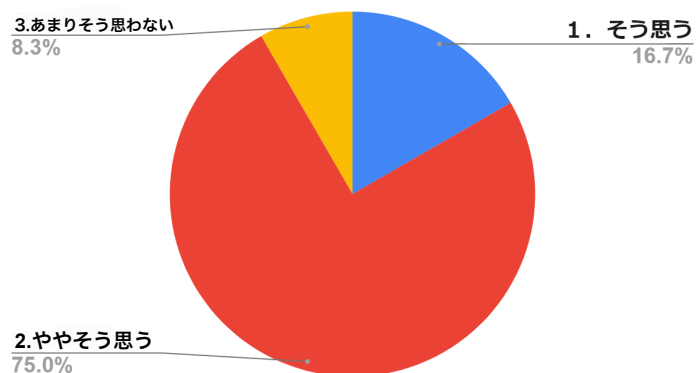
1 学年



2 学年

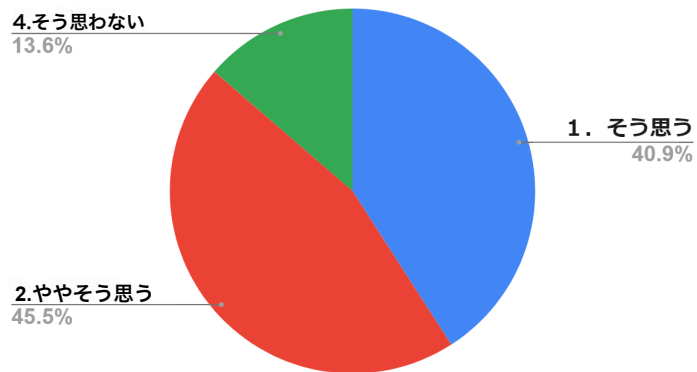


3 学年

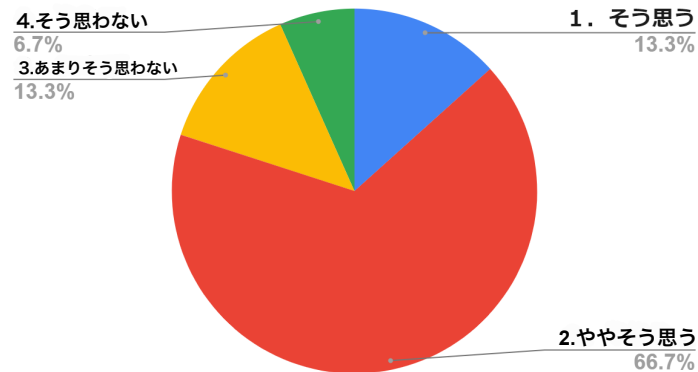


6. 私は、自分の健康のため、食事や衛生面に気をつけて生活している。

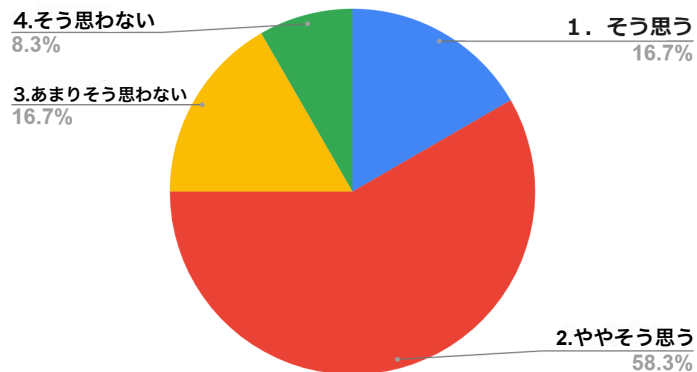
1 学年



2 学年

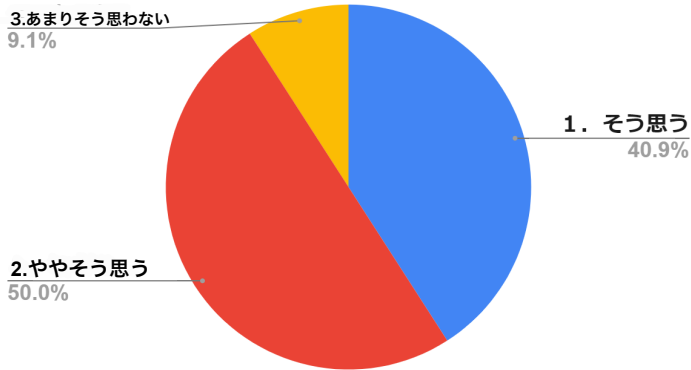


3 学年

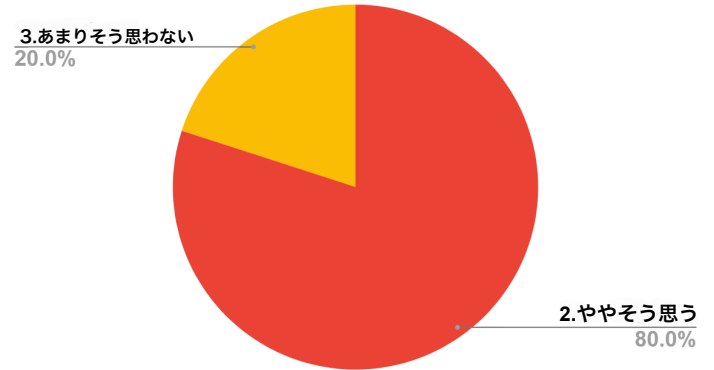


## 7. 私は、川口高校の学校生活に満足している。

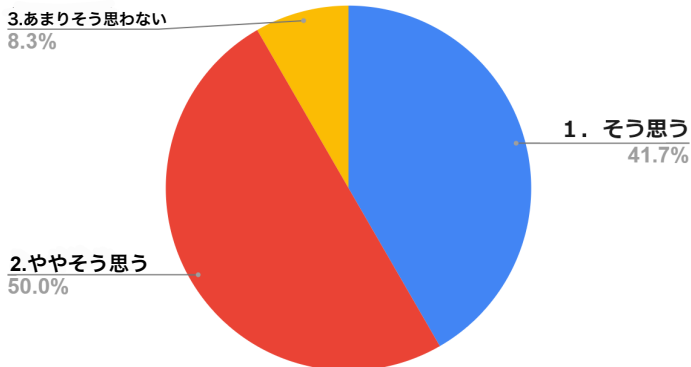
1 学年



2 学年



3 学年



1では、規則正しい生活を送れていないことを自覚している生徒が確認できる。

2では、ほとんどの生徒が校則を守っていると考えているようであるが、守れていないという回答が非常に少ないため、校則をきちんと理解できていない可能性もある。

3では、生徒たちが学校行事に積極的に参加していることがうかがえる。少し見られる参加できていないという回答は、大勢での活動が苦手な生徒によるものと思われる。

4では、部活動・委員会活動の主力であることから2学年で特に積極性が見られる。3年では下級生に席を譲る時期であるためか少し控えめであり、1学年は技術や仕事を覚える時期であるためか積極的に参加できていないという回答が見られる。

5では、地域の活動に参加できていないという回答が多かった。

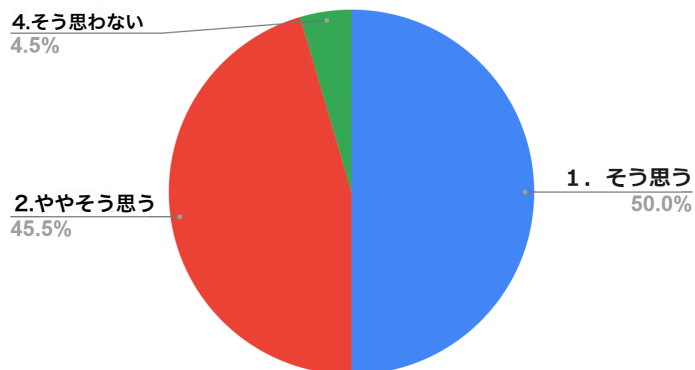
6では、寮の食事があるにもかかわらず、否定的な回答が多かった。原因を究明して、あらためて指導が必要な項目であると考えられる。

7では、大体の生徒が学校生活に満足していることが分かる。ただ、学年によっては「あまりそう思わない」の割合が少し多めであり、悩みアンケート等を活用した生徒把握・支援を引き続き行っていく必要がある。

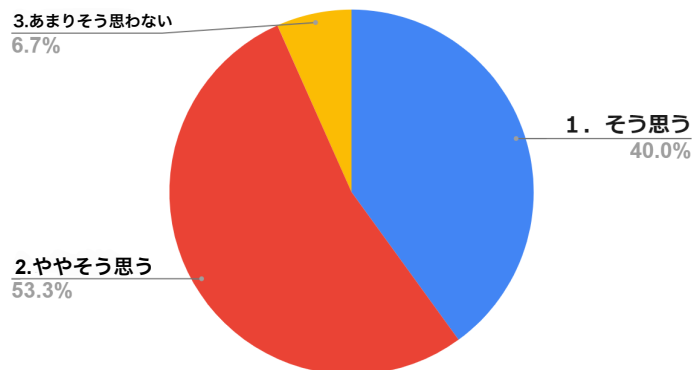
### ③授業、学習状況について

#### 1. 私は、授業中、集中して先生の話を知いている。

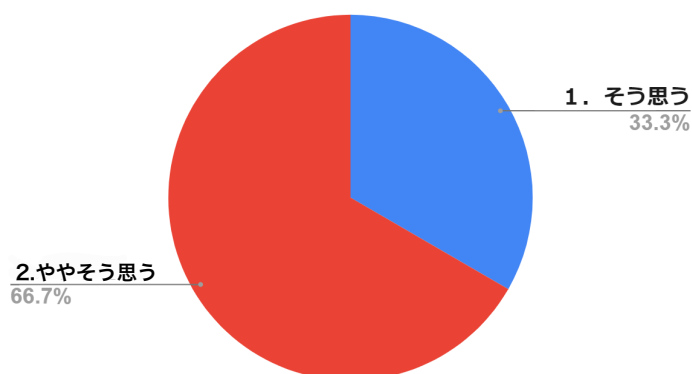
1 学年



2 学年

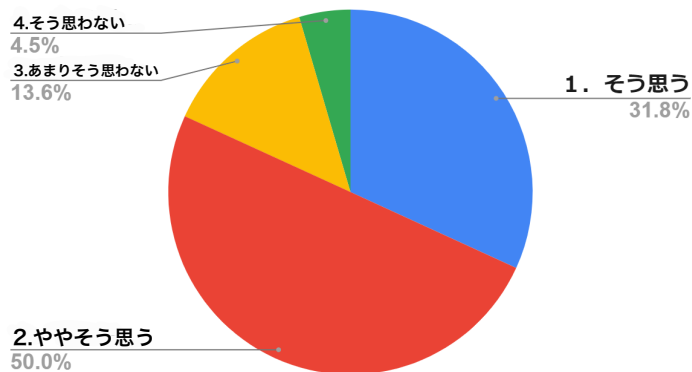


3 学年

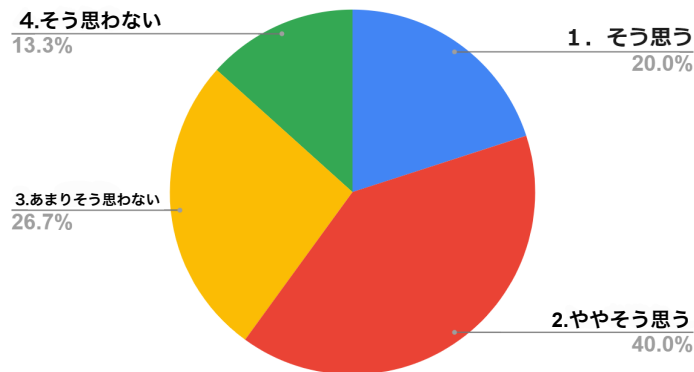


#### 2. 私は、授業で分からなかったところをそのままにせず、聞いたり調べたりして分かるようしている。

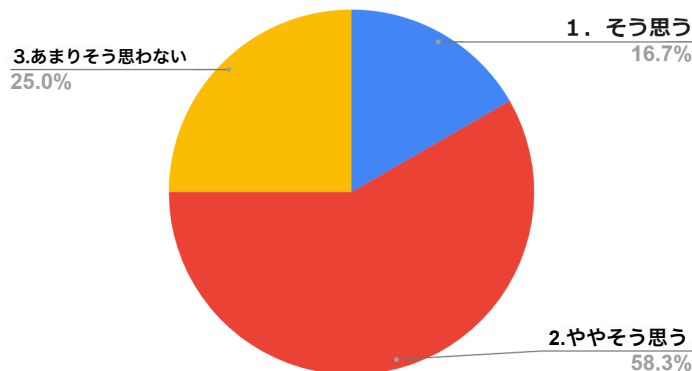
1 学年



2 学年

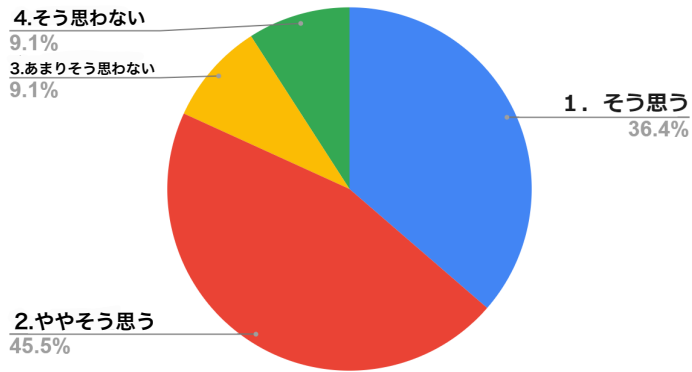


3 学年

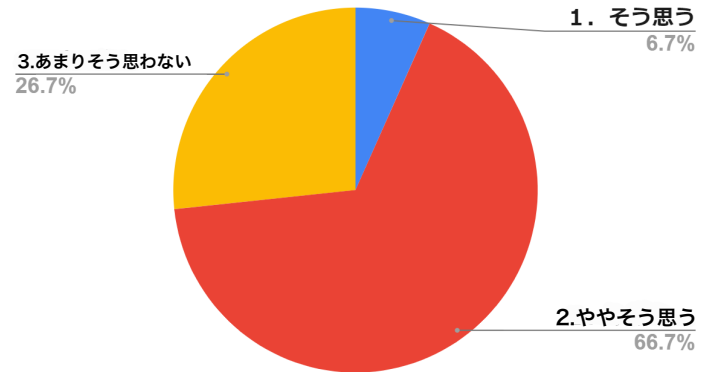


### 3. 私は、学力の向上を目指して、積極的に勉強している。

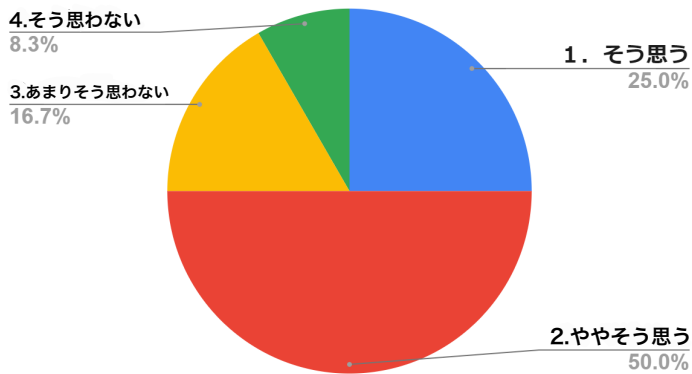
1 学年



2 学年

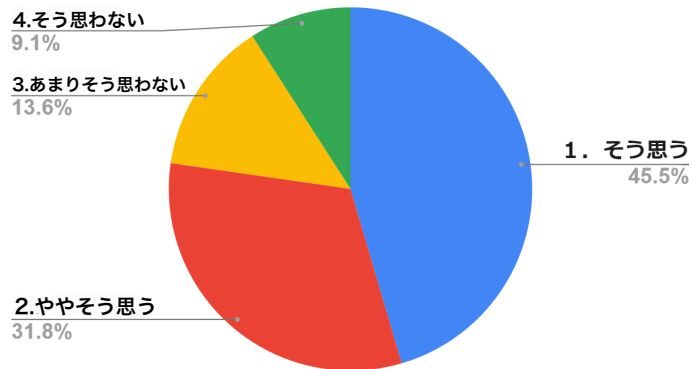


3 学年

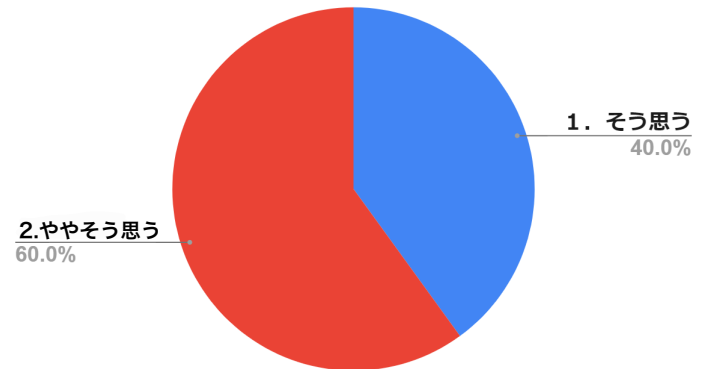


### 4. 私は、出された課題をきちんと提出している。

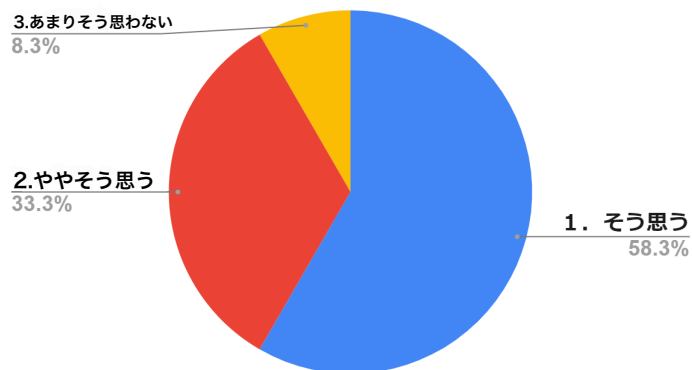
1 学年



2 学年

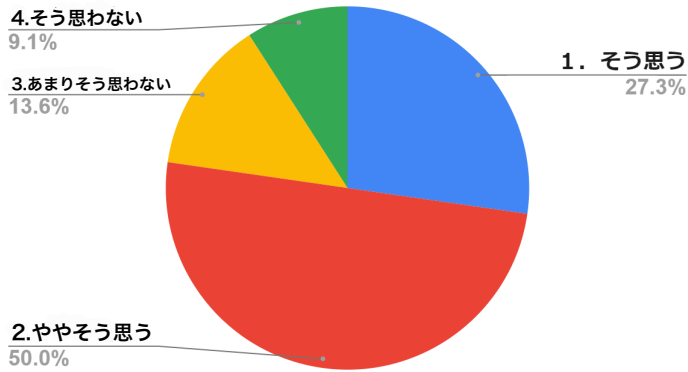


3 学年

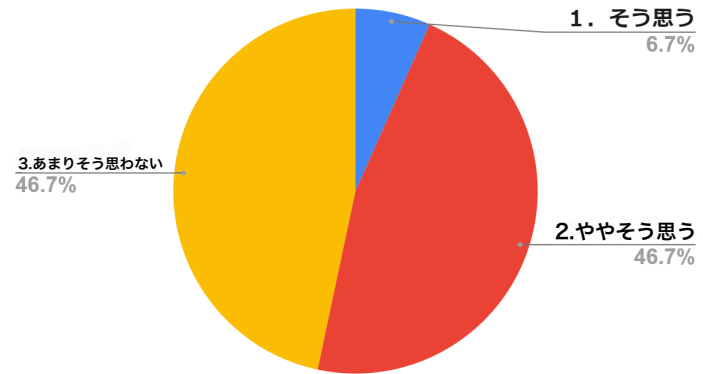


5. 私は、予習や復習など、家庭での学習を習慣として行っている。

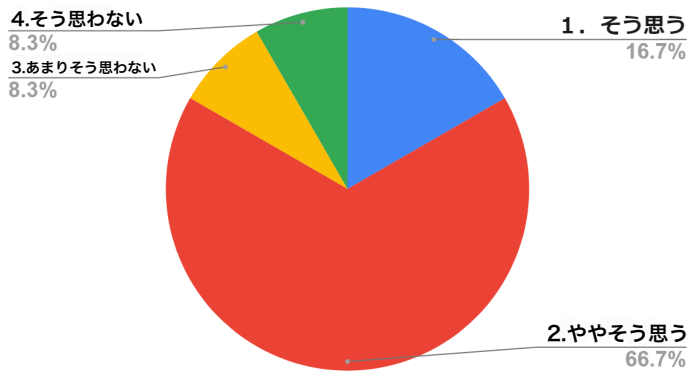
1 学年



2 学年

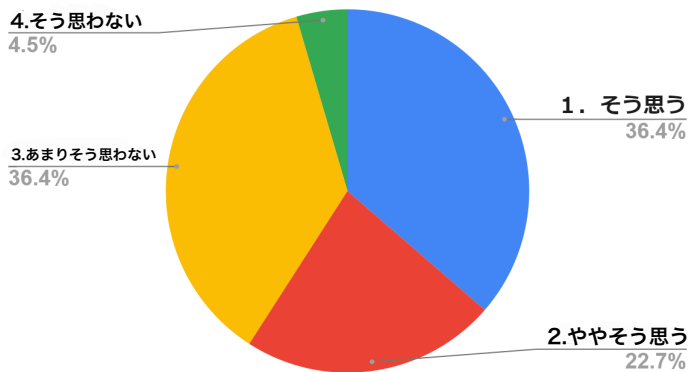


3 学年

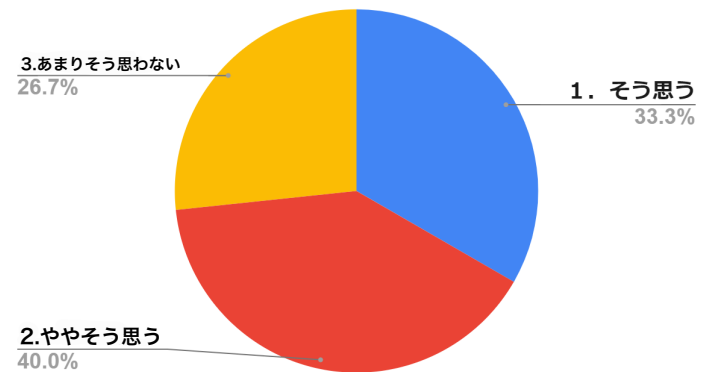


6. 私は、定期考査前は、計画を立てて、いつも以上に学習している。

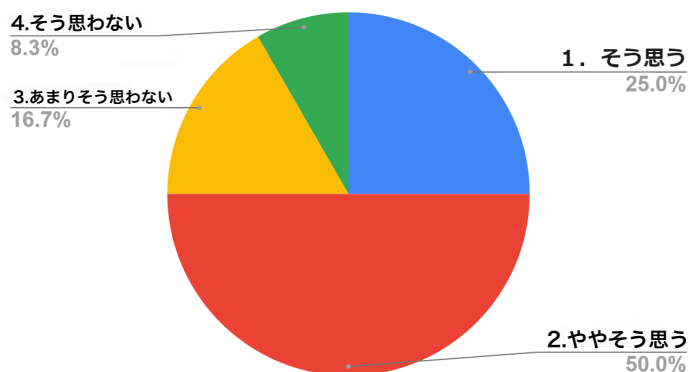
1 学年



2 学年



3 学年



1から、ほとんどの生徒が集中して授業を受けることができていると分かる。

2では、8割弱の生徒が復習の習慣があるとわかる。「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が3割弱あり、復習の習慣がない生徒も少なくないことが分かる。

3では、2同様で8割弱の生徒が積極的に勉強をしている中、勉強に対する意識が低い生徒もみられる。

4では、2学年の提出物に対する意識が高いことが分かる。この学校評価アンケートも2学年は早い段階で回答を完了している。逆に1学年は提出物に対する意識が他学年よりもやや低いことが分かる。各提出物の担当者だけでなく、学校・家庭で積極的に声かけをしていく必要がある。

5だけを見ると学習の習慣がないように見える。しかし、2や3と合わせてみると生徒たちが自主学習をする場は学校がメインであるということが分かる。

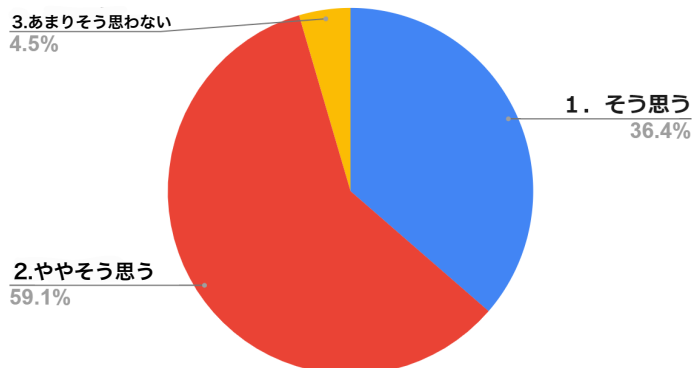
6では、1学年の「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が5割弱あり、1学年の考査に対する意識が低いことが分かる。2学年の意識が最も高くなっているのは、2学年の後半から成績に対する意識が高まっているためであり、3学年では、進路が決まった後に勉強のモチベーションを維持できていないことが考えられる。



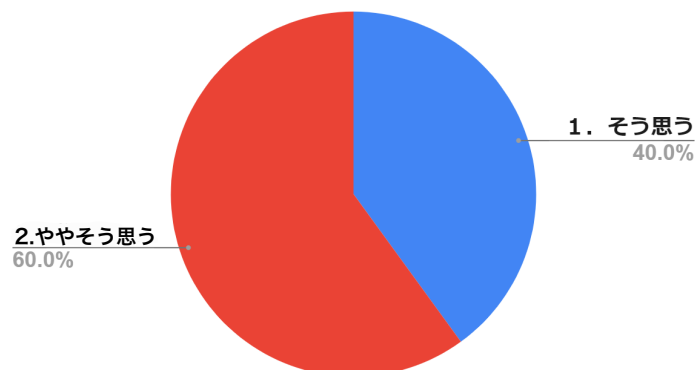
④私が所属する習熟度別クラスは、

1. 自分の学力にあった。

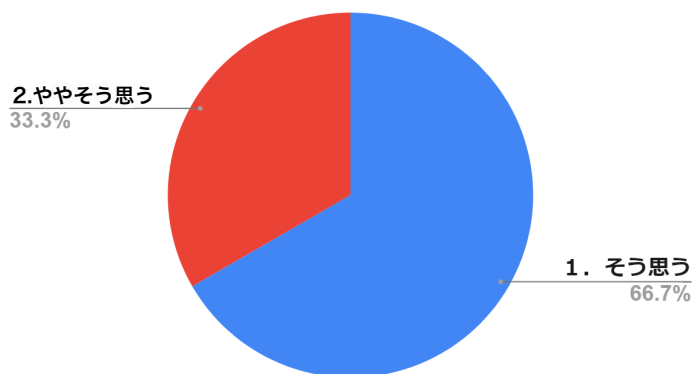
1 学年



2 学年

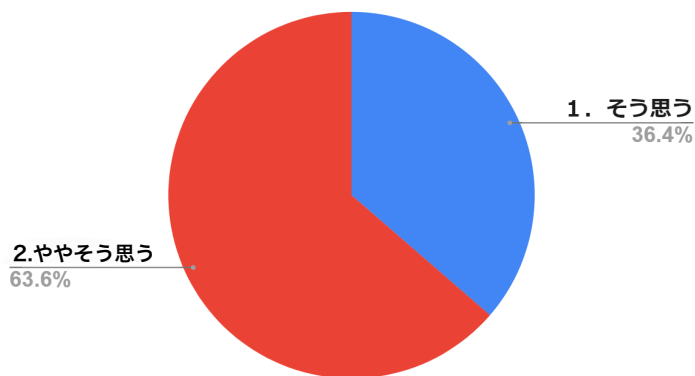


3 学年

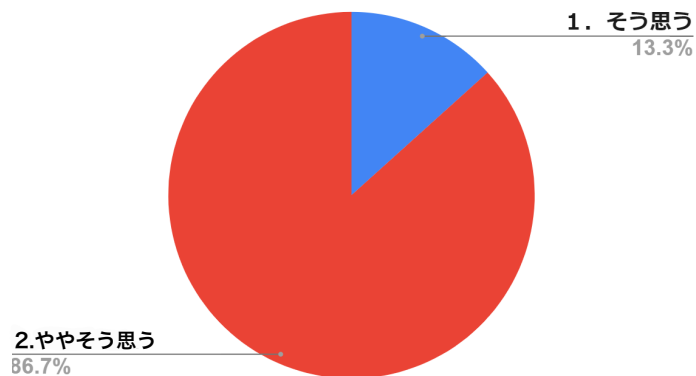


2. 授業の進度が、自分には合っていた。

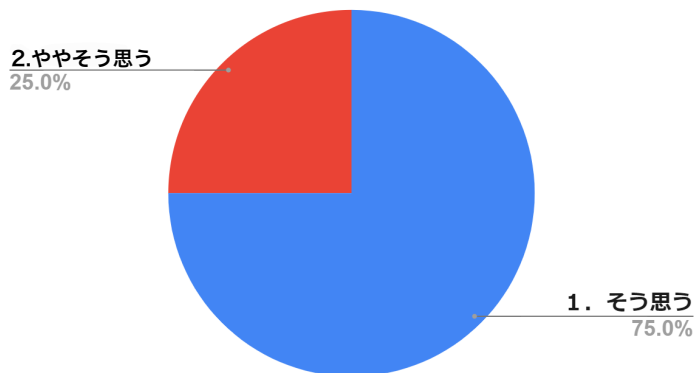
1 学年



2 学年

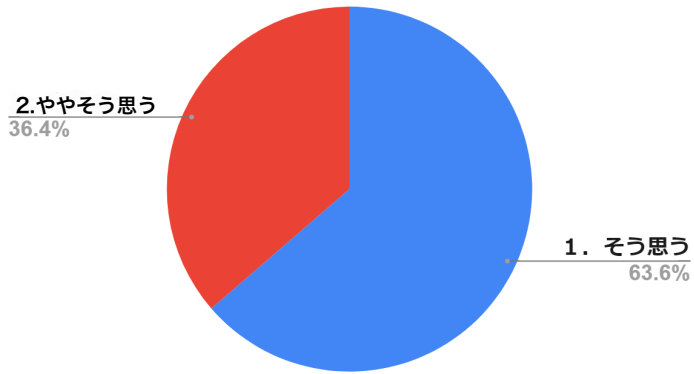


3 学年

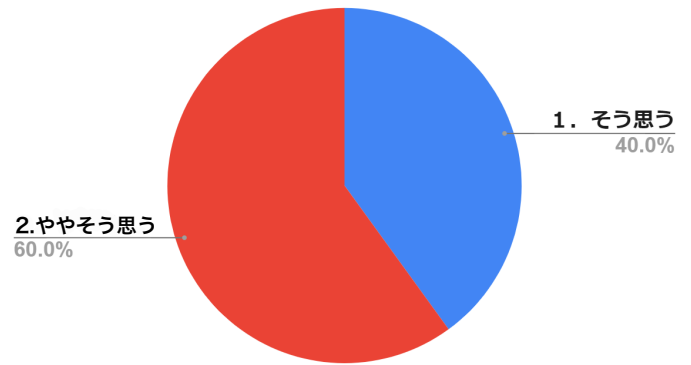


### 3. 先生が、分かりやすく教えてくれた。

1 学年



2 学年

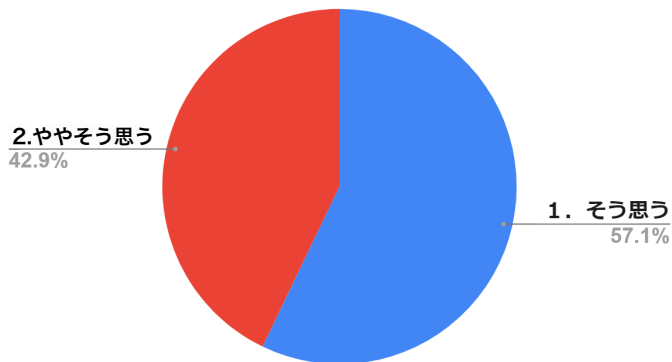


3 学年

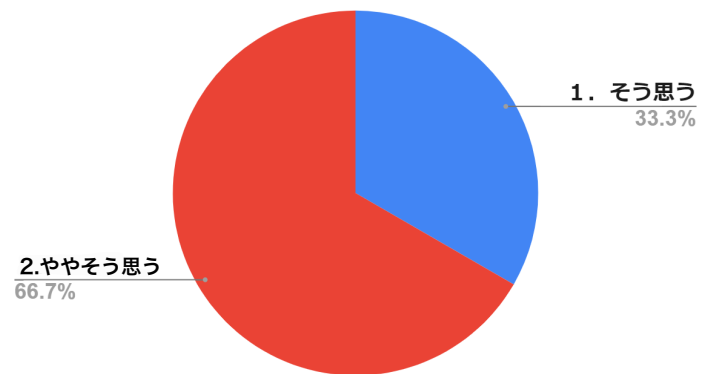


### 4. ノートや課題などの提出物を先生がていねいに見てくれた。

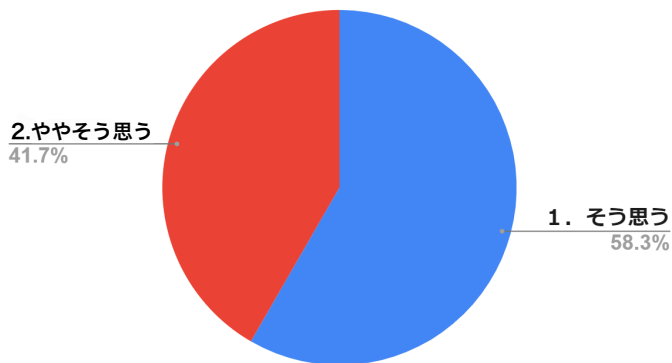
1 学年



2 学年

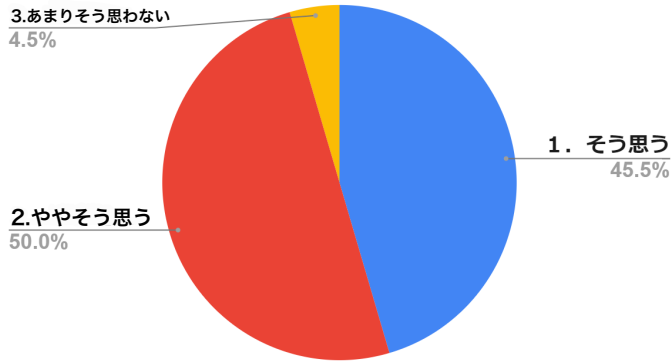


3 学年

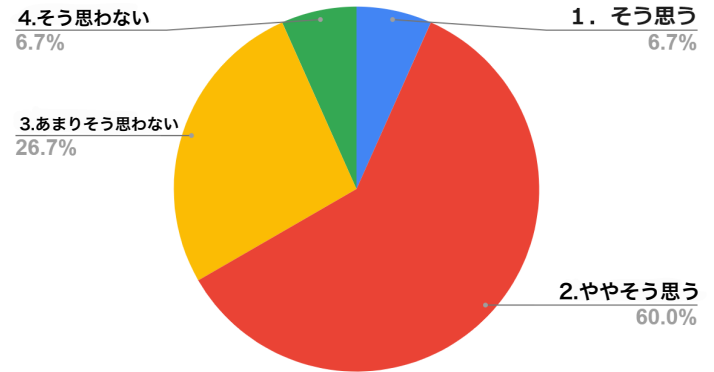


5. がんばった分だけ先生がきちんと評価してくれたため、やる気が増した。

1 学年



2 学年

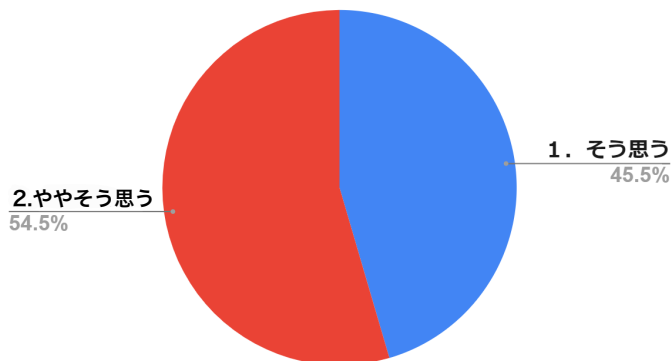


3 学年

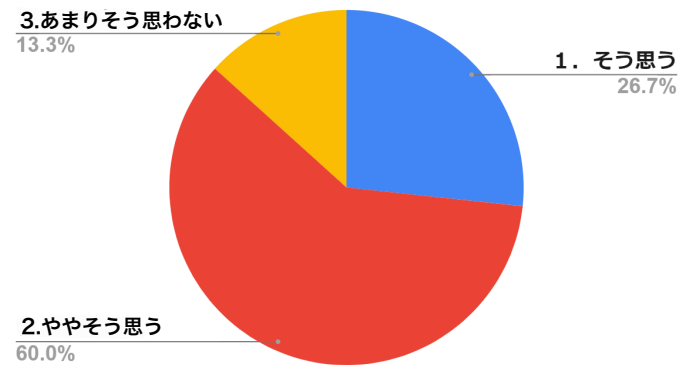


6. 教科書以外のことも先生は教えてくれたため、学ぶことへの興味が増した。

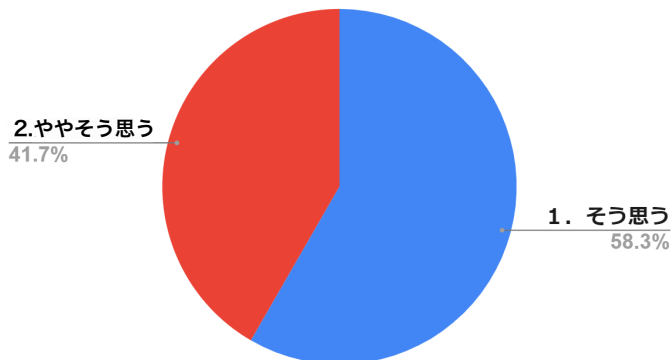
1 学年



2 学年

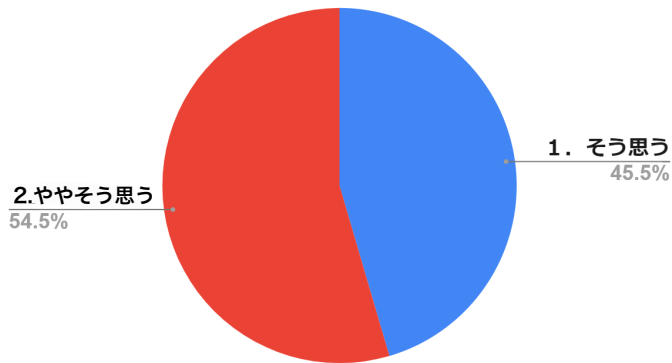


3 学年

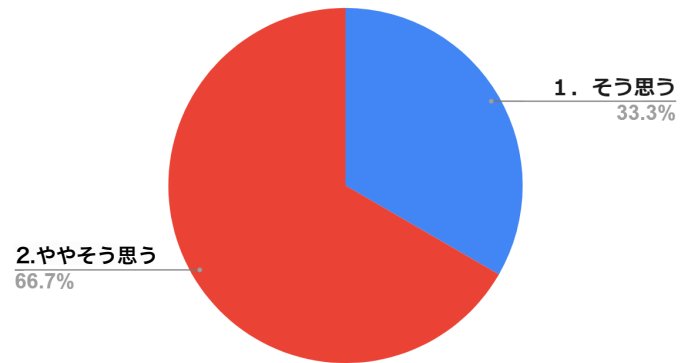


7. 質問に先生がていねいに答えてくれたため、よく理解することができた。

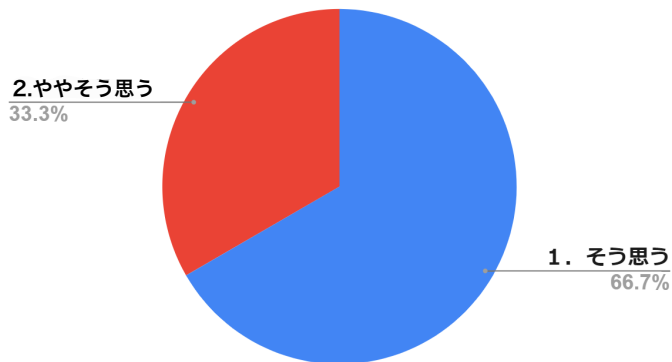
1 学年



2 学年



3 学年



ほぼ全ての質問に対し、「そう思う」「ややそう思う」という回答がされている。一部、そうでない部分があるが、1学年の場合は今年度の入学者が例年より多く、希望するクラスに入ることができなかった生徒がいたため、2学年の場合は1学年にはあった $\gamma$ (ガンマ)クラスが2学年以降は無くなるためだと考えられる。以上のことから、本校の習熟度別授業は機能していると考えられる。ただし、生徒の進路や学力を考慮したより良い習熟度別授業を引き続き目指していくことが必要である。